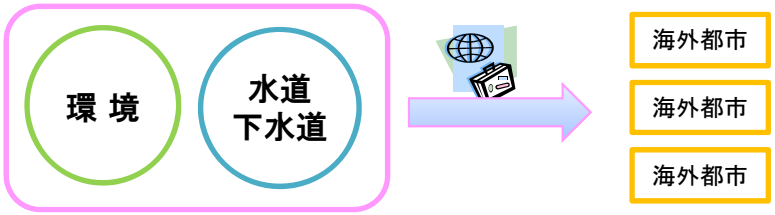
かわビズネットとGICとの期待される連携モデル

かわビズネットでは、環境分野と連携した新たな水ビジネスモデルや活動の企画を検討するために、「環境分野連携検討ワーキンググループ」を設置しました。

このモデルは、2014年10月8日及び10月27日の2度にわたり開催したワーキンググループにおいて整理し、幹事会で確認の上、GICへ提案したものです。

今後、GICとの連携にあたり、これらのモデルを含め、かわビズネットとして効果的な取組を行ってまいります。

（1） 案件のパッケージ化



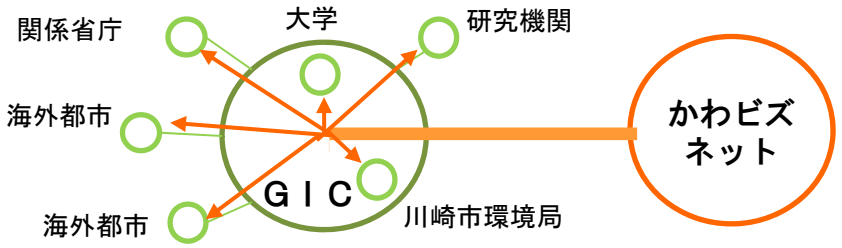
水分野と環境分野をセットにした案件の提案（JCMやODAの案件含む）

a 水質規制の必要性と下水道の整備

b 下水汚泥と廃棄物の混合処理

c 温室効果ガス削減を伴う水道・下水道の整備

（2） ネットワークの活用



① 環境分野で連携している海外都市への参入

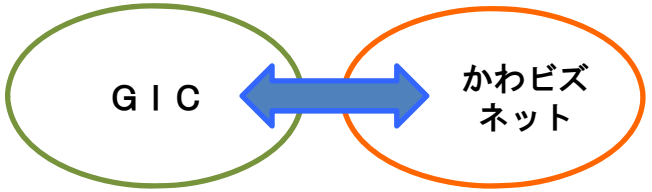
② 住民の啓蒙活動など企業では経験のない分野での行政との連携

③ 市の各局が有する国等とのパイプの活用

④ 環境分野で連携している研究機関や団体との連携

⑤ 行政等による案件形成に向けたコーディネート機能への期待

（3） 情報共有・情報提供



① GIC参画企業の技術等の把握やかわビズ会員企業の技術・製品の紹介

② メーリングリストによる各種情報の共有化

③ 環境分野でのFS情報の提供

④ 環境分野への参入に向けたセミナーの開催